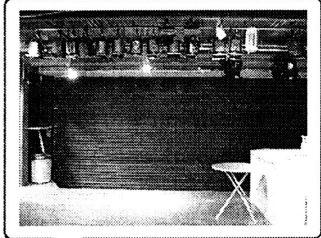
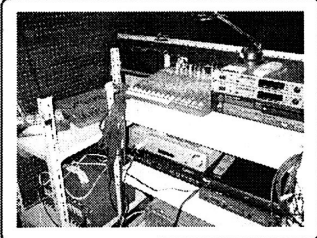


in→dependent theatre 1st

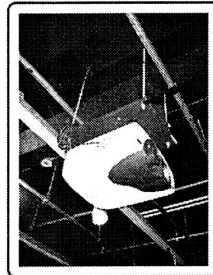
■ロビー■
ロビーは、自由にレイアウトしてお使いいただけます。演劇などではスタッフが多用なパネルなどで仕切って仮設楽屋を造ることもあります。必要な客席キャバにより、幕の吊換えでロビーの広さを変更することもできます。また、シャッターを境に道路と面しているため、トラックを半分入れての搬入が可能です。シャッターの間口が大きいのでどんな美術でも入ります。イベントなどではシャッターを開放して使用することも可能です。



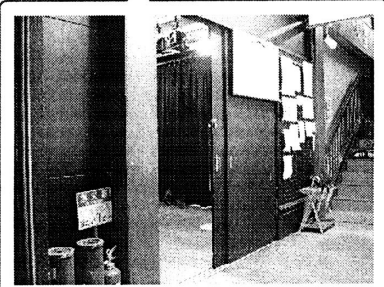
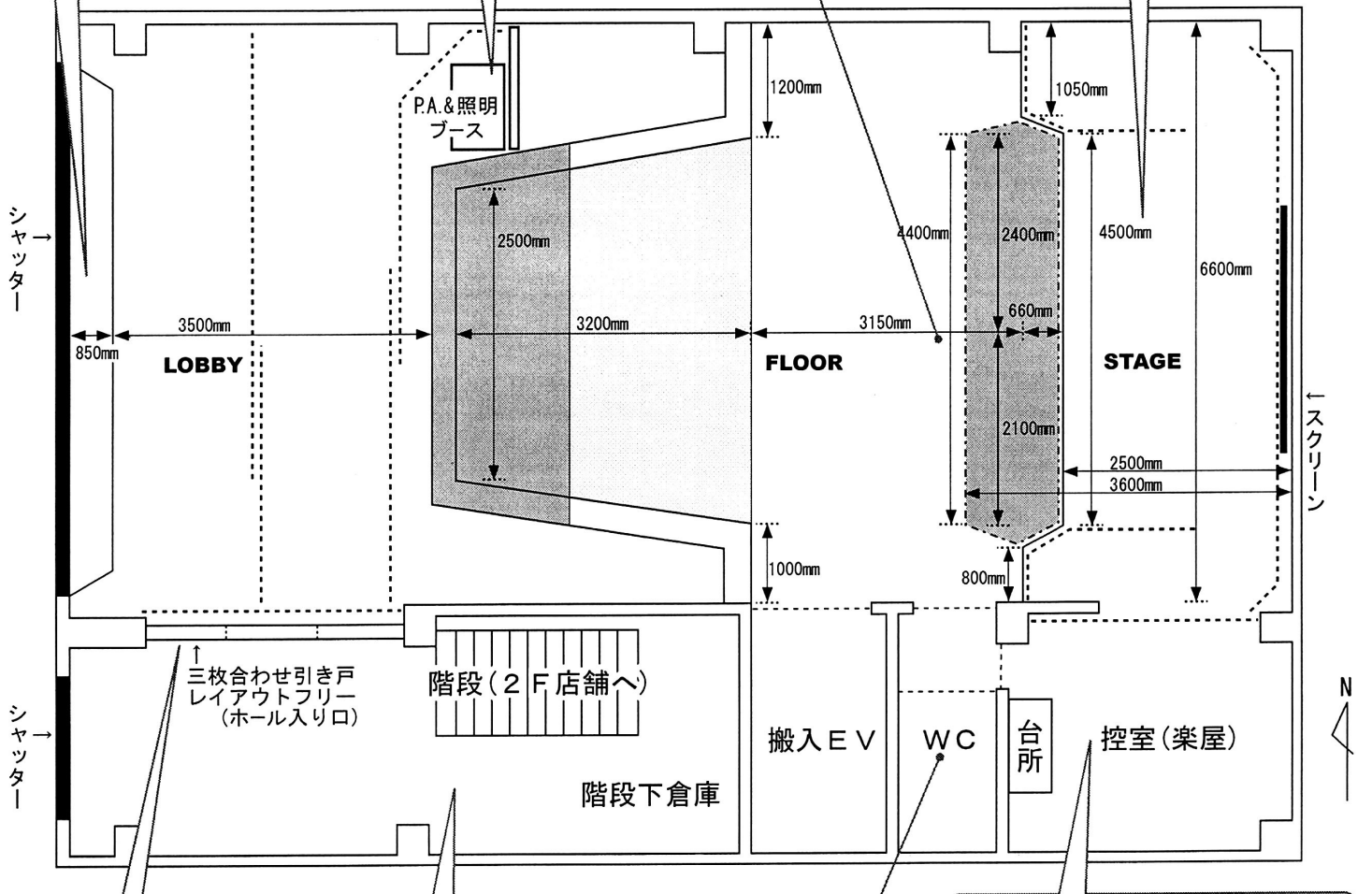
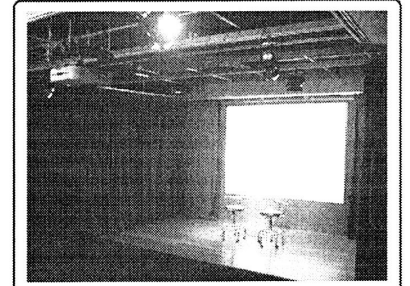
■音響・照明ブース■
ブースは、この位置を常にしてはいますが、ケーブルの長さには余裕があるので好きな位置に移動していただくことも可能です。また、通常は下図のように音照を一人で操作するレイアウトになっておりますが、当然音照各一名のレイアウトなどにお使いいただくことも可能です。機材については別紙機材リストをご覧ください。



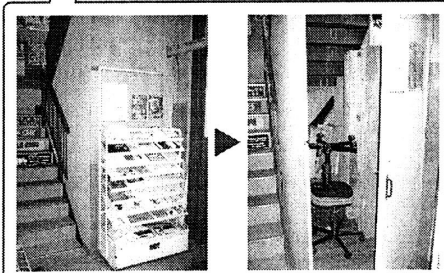
■プロジェクター■
プロジェクターは、当劇場120インチスクリーンへの最適焦点距離で常吊されています。映写途中にフタをする簡単な仕掛けも常設しております。



■ステージ■
フロアから30cm上がりの常設舞台(間口2.5間/奥行1.4間)がありトークライブや映画上映の舞台挨拶に最適です。演劇などで広さが必要な場合には拡張ステージを付けて間口2.5間/奥行2間とすることもできますが、工夫次第でそれ以外にも多彩な舞台の組み方が可能です。また、袖幕はカーテン式ですので、必要であれば開放してより間口を広げることが可能です。スクリーンは使用しなければ手前に大黒幕を引いて隠すことができます。

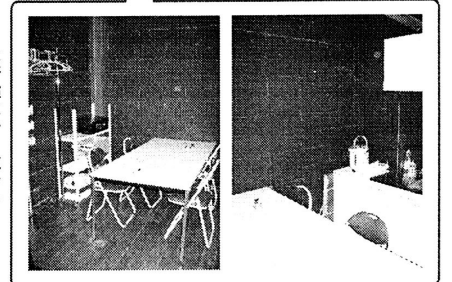


■劇場入口部分■
入り口は引き戸になっています。開場中は開けておき、開演後は扉を閉めるのが通例になっています。劇場内は禁煙なので、この入り口の喫煙コーナーを利用していただけます。入り口には1ヶ月分のスケジュールがチラシと共に掲示されています。



■チラシスタンド/階段下倉庫■
スタンドには公演のチラシなどを置いています。またスタンド奥は、拡張ステージや平台、材木などを収納する倉庫になっています。まだ完成したばかりで塗装が終わっていません。

■WC■
トイレは会場内に男女共用で一箇所となります。出演者は開場前までに済ませるなど多少工夫が必要です。楽屋からの抜け道があるので、舞台を通過せずに入ることができます。



■楽屋■
楽屋は舞台袖と繋がっており、四畳半くらいの広さです。水場と冷蔵庫が用意されており、隠し扉でWCに繋がっています。演劇などでスタッフが多用な場合は出演者のみで使用するなど工夫をしています。